

# さかえ

## 市議会だより

2010年1月20日

No.104

### 12月定例会

第5回臨時会・第6回臨時会

#### 主な内容

- 審議した議案の結果…………… 2～3<sup>P</sup>
- 臨時会…………… 4
- 一般質問…………… 5～9
- 常任委員会行政視察報告…………… 10～11
- 市民の声  
あらがまち紹介ほか …………… 12



6 リエ座像・長橋阿久於氏

### 街並みギャラリー

～彫刻を見て歩く～



■発行 寒河江市議会  
■編集 市議会だより編集委員会

この市議会だよりの用紙は再生紙を使用しています。

# 12月定例会

12月定例会は、12月4日から14日間の会期で開かれ、教育委員の人事案件、一般会計など補正予算2件、条例改正2件、指定管理者の指定4件の9議案を審議した結果、原案のとおり同意、可決しました。また、請願2件を採択、意見書提出の議会案2件を可決しました。



## 同意

◇教育委員（新任）

草苅 節子氏（箕輪）

## 議案に対する 主な質疑

### 自転車等駐車場設置及び 管理に関する条例の 一部改正について

議員 放置自転車の処分の現状はどうなっているのか。また、改正後は「使用者を調査し、当該放置自転車等の引き渡しに努める」とあるが、その基準はあるのか。

答弁 現在は、幾度となく移動を催告するチラシ等を放置自転車に添付し、それでも移動しない場合は、遺失物法等の規定に基づき警察署に搬入し、警察署の公告を経て処分しています。改正後は、放置自転車に移動を促す注意札を添付し、警察や防犯登録などで所有者の特定を図ってもなお不明なものについては、市が

移動し、公告の手続きを経て処分いたします。



寒河江駅駐輪場

### 国際チェリーパーク、イベント広場、チェリードーム、臨川亭及びチェリーランド、河川敷公園に係る指定管理者の指定について

議員 今現在管理委託しているチェリーランド管理センターの今後のあり方は。

答弁 来年4月1日から指定管理者に移行しますので、3月末をもって廃止になる予定です。

### みなみ保育所に係る 指定管理者の指定について

議員 みなみ保育所の指定管理者を今回公募しなかった理由は。

答弁 指定管理者を公募し、運営者が変わるとなると、保護者や園児に不安や動揺を与えることから、指定管理者選定委員会では、みなみ保育所については、アンケートでもおおむね良好な結果が出ており、非公募の指定管理としたものです。



### 市民浴場に係る 指定管理者の指定について

議員 市民浴場の指定管理というものは、市民浴場だけでなく、源泉の管理も含めて委託しているのか。

答弁 業務の一つとして、新寒河江温泉の源泉の保守点検業務を含んでいる内容になっています。

## 予算特別委員会

### 一般会計補正予算 (第8号)の主な質疑

委員 障害者福祉施設整備事業では、土地購入費から補助金交付に切り替わったことよって、今後のスケジュールに支障がないようにすべきと思うが。

答弁 知的障害者更生施設・さくらんぼ共生園の増築に対する支援ですが、当初、市で用地購入する予定が、建物に対して補助することに変更になりましたが、当初のスケジュールどおり今年度で完成の予定です。

委員 中心市街地活性化センター省エネ・グリーン化推進事業の内容は。

答弁 地域グリーンニューディール基金を活用して、フロロラさがえの冷房用冷却塔の更新、4階照明設備をインバータ型照明に切り替え、省エネを図ろうとするものです。

## 提出議案と審議結果

議案番号	議 案 名 等	審議結果
議第76号	寒河江市教育委員会委員の任命について 教育委員の任期満了に伴い、草刈節子氏を新たに任命しようとするもの	全会一致で 同意
議第77号	平成21年度寒河江市一般会計補正予算（第8号） 中心市街地活性化センター省エネ・グリーン化推進事業費等の計上、果樹園芸作物等生産振興対策事業費等の追加により、2億532万9千円を追加するもの	多数で可決
議第78号	平成21年度寒河江市国民健康保険特別会計補正予算（第4号） 保険給付費、前期高齢者納付金及び特定健康診査等国庫負担金の精算に伴う償還金等1億1,122万5千円を追加するもの	全会一致で 可決
議第79号	寒河江市自転車等駐車場設置及び管理に関する条例の一部改正について 放置自転車等による駅前駐輪場等の環境悪化を防止し、その機能の確保を図るため、市長が放置自転車等を移動、処分できるよう改正するもの	全会一致で 可決
議第80号	寒河江市立病院使用料及び手数料条例の一部改正について リハビリテーション医療に係る患者のニーズに対応するため、所要の改正をしようとするもの	全会一致で 可決
議第81号	国際チェリーパーク、イベント広場、チェリードーム、臨川亭及びチェリーランド河川敷公園に係る指定管理者の指定について 株式会社チェリーランドさがえを平成22年4月1日から平成25年3月31日まで指定管理者に指定しようとするもの	全会一致で 可決
議第82号	寒河江市立みなみ保育所に係る指定管理者の指定について 学校法人陵乗学園を平成22年4月1日から平成27年3月31日まで指定管理者に指定しようとするもの	多数で可決
議第83号	寒河江市立にしね保育所に係る指定管理者の指定について 学校法人不動学園を平成22年4月1日から平成25年3月31日まで指定管理者に指定しようとするもの	多数で可決
議第84号	寒河江市市民浴場に係る指定管理者の指定について 株式会社山形環境エンジニアリングを平成22年4月1日から平成27年3月31日まで指定管理者に指定しようとするもの	全会一致で 可決
議第85号	物品の取得について 市立小中学校校務用パソコン機器を整備するため取得しようとするもの	全会一致で 可決
請願第8号	水田農業政策の確立を求める意見書の提出に関する請願	全会一致で 採択
請願第9号	日本農業を守る貿易交渉対応を求める意見書の提出に関する請願	全会一致で 採択
議案第7号	水田農業政策の確立を求める意見書の提出について	全会一致で 可決
議案第8号	日本農業を守る貿易交渉対応を求める意見書の提出について	全会一致で 可決

※議案第7号、議案第8号の可決を受け、ただちに意見書を関係省庁に送付しました。

## 第5回臨時会

10月20日、臨時会が開かれ、新型インフルエンザワクチン接種費用負担軽減事業費835万2千円を追加する一般会計補正予算、陵東中学校校舎耐震補強工事請負契約の締結についての2議案を審議した結果、いずれも全会一致で原案のとおり可決しました。

### 議案に対する 主な質疑

#### 一般会計補正予算 (第6号)

**議員** 市内の新型インフルエンザの罹患状況とワクチンの接種状況は。

**答弁** 現在、南部小学校4年、中部小学校1年、3年の各1学級が学級閉鎖しており、小学校の発生者数は14名です。また、陵南中学校で10月19日から25日まで休校措置をとっています。その他の施設で発生はあり

ません。民間企業では、2事業所で2名以上発生したという報告を受けています。ワクチン接種については、優先接種対象者が決められており、まず医療従事者から行われます。昨日の段階で、ワクチンは市立病院に届いており、今日にも接種が始まるかと思いますが、民間の医療機関にはまだ届いていません。

**議員** 新型インフルエンザワクチンの接種は基本的に予約制だが、小中学校での啓蒙や、接種の有無の調査を考えているのか。

**答弁** 児童生徒への順番が来た場合には、予防接種を啓発したいと思いますが、接種は保護者の責任において対応することになります。接種の調査については、学校として実態を掌握しなければならぬとは思いますが、外部に公表できるものではなく、内部資料として活用できるように対応してまいりたいと思います。

### 陵東中学校校舎耐震補強工事 請負契約の締結について

**議員** 入札参加業者は何社か。入札予定価格、最高入札額はいくらで、落札額は予定価格の何%か。下請けを市内の業者とする条件は付けられないのか。

**答弁** 入札参加業者は3社。予定価格は消費税込みで1億6348万5千円。最高入札額は1億7010万円で、予定価格と落札額の比率は96・98%です。下請けに関して入札の段階で条件にしていますが、できるだけ市内の業者とするようお願いしていきたいと思えます。



## 第6回臨時会

11月26日、臨時会が開かれ、特別職及び一般職の給与改定や、企業立地推進事業費、予防接種事業費、道路新設事業費等の追加で、4083万8千円を追加する一般会計補正予算ほか特別会計補正予算3件、条例改正2件を審議した結果、いずれも全会一致で原案のとおり可決しました。

### 議案に対する 主な質疑

#### 一般会計補正予算 (第7号)

**議員** 人勤に伴う給与条例の改正は、職員の賃金に関することであり、労使の協議状況はどうなっているか。

**答弁** 11月10日に組合に提案し、11月19日に再度交渉を行い、合意に至っております。

**議員** 今回の給与改定によって、職員1人あたり年間

どれくらいの減額になるのか。



**答弁** 総額では1人あたり14万7500円程度の減額になります。内訳として、期末勤勉手当、給料の0・2%削減、住居手当の廃止が合わさって、このような額になる見込みです。

### 市議会を傍聴しませんか

本会議は、誰でも傍聴することができます。お気軽においでください。会議日程は、市議会ホームページまたは直接事務局にお問い合わせください。



祭り行事の見直し（廃止）について

新宮 征一 議員

① さくらんぼ囃子オンパレードは今年で33回を迎えたが、近年の状況では参加団体（人数）と共に観客数も極端に減っている。

このイベントは、所期の目的は達成されたと思う。費用対効果を考えれば、廃止すべきと思うかどうか。

② 国民の祝日の改正により、寒河江まつりは、「八幡様の行事」とメインイベントである「神輿の祭典」が分断され、いま一つ盛り上がり欠けた感がある。祭りムードの盛り上げを図るため、休日に合わせた一体的な祭りの開催はできないか。

市長 ① さくらんぼ囃子オンパレードは、昭和52年から、本市の情報発信に大きな役割を果たしてきましたが、時代とともに求められるものが変化してきており、市民が求める、時代にあった祭りについて、まつり実行委員会とともに検討してまいりたいと考えております。



中心市街地活性化について

國井 輝明 議員

寒河江駅前の神輿会館前広場について、あれだけの広いスペースがあれば、なんらかのイベントが開催できるのではないかと。また、せせらぎ公園の足湯と沼川の間の広場に屋台村をつくることなども考えられるのではないかと。

そこで、駅前の商店街などでの定期的なイベントや、駅前広場を利用したイベントを含め、中心商店街の活性化にどう取り組んでいくのか市長の考えはどうか。

市長 駅前では1年を通して様々なイベントが催されており、昨年からは始まったふれあい盆踊りや今年のJAZZコンサート開催等、新たな賑わいづくりも行われてきております。屋台村等のご提案もありましたが、定期的なイベントとしては「市」等も考えられるのではないかと考えております。定期的なイベントには組織的な取り組みが必要となりますが、駅前等の中心市街地が賑わい、元気になることが市全体の元気につなが

つていくものと考えておりますので、皆さんと一緒に積極的に取り組みながら、活性化を目指してまいりたいと考えております。

スポーツの振興について

本市では、スポーツ少年団や、中学校などの部活動で東北大会以上の大会に出場が決まれば補助金を交付し、国体等の全国大会に参加する場合には激励金を支給している。しかし、クラブチーム等では、市の支援が受けられず自費で参加している現状にある。

市民であれば、同じ対応をすべきであり、子育て支援の一環としても、支援すべきと思うかどうか。

教育委員長 市教育振興計画の大きな柱として競技力の向上を掲げていますので、小中学生がクラブチームに所属して全国大会等に出場した場合でも、激励金として交付支援できるように「各種大会激励金交付要綱」の見直しを前向きに検討したいと考えております。

木の沢地区の飛び地問題  
解消について

② 今年から、神輿の祭典等が担ぎ手確保や集客等を考慮し、休日開催となりましたが、寒河江まつりは本市を代表するものであり、さらに充実していくために、参加団体や市民の声を踏まえ、まつり実行委員会と協議してまいりたいと思います。

木の沢地区は、寒河江の行政区域でありながら、大江町木の沢が飛び地の形で混在し、組織構成や日常生活でも不都合が生じている。生活環境の整備を図る上で両市町間の協議で問題解決はできないか。

市長 飛び地の住民には、水道事業、防災活動、小中学校の区域外就学、ごみ収集等について両市町で協議を行い、不便の解消に努めてきております。歴史的背景のある飛び地の解消には、両市町の住民と議会の合意が必要であり、引き続き協議しながら努力してまいりたいと考えております。



中学校給食の実施について

杉沼孝司 議員

本市の教育振興計画では、学校給食について中学校はミルク給食となっているが、中学校給食を完全実施するため、教育振興計画をどのように見直したのか。

また、実施方式について、どのように検討し、どのような方法と確定したのか。もし、未確定であれば、いつまで確定するのか。さらに、実施に向けた今後のスケジュールはどうか。

**教育委員長** 教育振興計画の見直しについては、現在、最終的な詰めを行っているところで、中学校給食の実施については市教育振興計画検討委員会です承を得ております。

給食の実施方式としては、自校調理方式、親子方式、共同調理場方式、民設民営方式等があります。が、中学校給食検討専門委員会の調査・検討結果をもとに、本市にふさわしい方式を検討中で、来年1月には方式を決定してまいりたいと考えております。

政府の事業仕分けによる影響について

政府は、予算の無駄をなくすため、行政刷新会議において、22年度予算の概算要求の中から、449に上る事業について予算計上の見送りや削減、廃止といった事業仕分けを行った。その結果、地方交付税、まちづくり関連事業、農道整備事業、耕作放棄地再生事業等、本市の事業計画にも多大な影響があると思われるがどうか。また、その対策はどうか。

**市長** 事業仕分けに関係する本市の事業は26事業が想定され、22年度に国県から支出される金額は、地方交付税等を除き5億8400万円程と見込んでおります。具体的な影響については、見直し内容が固まっていないため、現段階では把握できる状況になく、今後、国の予算編成作業の中で具体的な内容が明らかになるものと思われるので、注視しているところであります。



高齢者の足の確保について

辻 登代子 議員

地域のお年寄りから寄せられる声として、昨年4月から導入された介護保険料の値上げによる経済的負担の増加や、6月の道路交通法の改正による高齢者の運転免許証の返納や取り消しによって、今後、高齢者の足の確保が心配される状況などがあげられている。

高齢者が安心安全に暮らせるための足の確保対策について、どのように考えているのか。

**市長** 今後、高齢化社会の一層の進展が予想されることから、高齢者や公共交通機関のない地域における移動手段の確保について、検討する必要があると考えております。

手段としてはコミュニティバス等色々考えられますが、需要や費用対効果等を十分調査した上で、地域の要望をアンケート等で把握し、公共交通機関やタクシー業等との棲み分けにも配慮しながら、本市にあったものを研究してまいりたいと思っております。

認知症早期発見対策について

認知症は、高齢になるに従い、誰にも身近におきる病気である。本市において、認知症の方はどれくらいいるのか。また、認知症の方を介護する家族の負担は大変大きく、その軽減を図るためにも、早期発見対策が大変重要であると思われる。そのための施策として、タッチパネル式CRT認知機能評価システムを導入してはどうか。

**市長** 10月末現在で要介護認定者が1557人、その内、日常生活に支障をきたす等、認知症の症状のある方は924人です。

タッチパネル式CRTは、認知症に対する自覚を促す点では一定の効果はあると考えられますが、価格の面など総合的に勘案し、当面は現在の認知症スクリーニングテスト等を充実させて対応し、導入についてはさらに普及改良が図られた時点で検討したいと考えております。

商店街の活性化について



沖津 一博 議員

プレミアム付寒河江ほくほく券は1億1千万円分が発行され、わずか4日間で完売するほどの人気であった。換金率は99・8%の高率で、購入した市民は有効に活用したと思われる。市民生活や経済環境が厳しさを増しており、本事業を継続すべきと思うがどうか。

また、中心市街地商店街活性化支援事業、新商品開発支援事業についても、一定期間継続して行うのが望ましいと思うがどうか。

**市長** 寒河江ほくほく券は大変好評でしたが、課題も見られ、関係者や商工会の意見、国の動向を踏まえて検討してまいります。中心市街地商店街活性化支援事業は、効果や関係団体の動き等を見定め検討することし、新商品開発支援事業は、産業活性化と雇用創出のため継続を予定しております。

広域観光の推進について

仙台寒河江会の会員の対象を西村山地域出身者まで拡大し、広域

的な組織を作れば情報発信効果も上がり、寒河江西村山全体の観光振興につながると思うがどうか。

**市長** 仙台寒河江会は11月8日に設立。会員数は約400名で、さらに拡大が図られるものと期待しております。今後、会員との交流を深めながら本市の認知度の向上を図り、特産品販売と観光客の増加につなげたいと考えております。観光ニーズは広域的・複合的になっており、西村山全体の観光振興を図りながら、本市発展につなげたいと考えております。

建築業の支援策について

来年度から実施する在来工法住宅建築補助については、関係団体と話し合い、使い勝手のよいものにすべきと思うがどうか。

**市長** 本市住宅政策の総合的・計画的な推進のための支援制度であり、要件等については、関係団体等の意見を聞きながら検討してまいりたいと思っております。

中学校給食について



佐藤 陽子 議員

①市長の中学校給食に対するビジョンはどのようなものか。

②2年以内に実施すると公約されたが、延びることもあるのか。

③教育委員会は、給食検討委員会の答申を受けて、1月中に実施の方法を決定するとしているが、何に重点をおき検討しているのか。

④給食を待ち望んでいる市民から、いつから実施するのかと聞かれる。これまでの経過や進捗状況を市報やホームページなどで知らせるべきと思うがどうか。

**市長** ①中学校給食は、少子化時代における子育て支援として必要であると考えており、子供たちの豊かな心といのちを育むと同時に、地域農業の支援や地域の子育て意識の高揚、さらには、子供たちの農業理解につながるものとしております。

②現時点においては、公約のとおり、最大限努力する考えであります。

**教育委員長** ③安全安心でおい

しい給食のため、主食・おかず・牛乳の完全給食及び3中学校同一方式を基本に検討しております。

④現在までの検討状況を市報でお知らせします。

国民健康保険について

①生活が厳しさを増す中、国民健康負担は耐え難いものとなっている。負担能力に応じた課税、徴収になっているのかどうか。

②失業や倒産で苦しんでいる人に、国保税条例の「減免」が適用できるような要件の緩和をすべきでないか。

**市長** ①国民健康保険税は、申告所得等に応じた負担となっております。所得水準に応じて軽減措置が講じられております。

②減免は、申請理由等について実態を調査し、担税能力の有無により適切に判断すべきであります。解雇された方等への新たな軽減措置を国で創設することにしており、適切に対応してまいります。



バス路線のない地域への交通  
対策について

木村 寿太郎 議員

現在の高齢者世代は、自動車免許を持たない割合が高く、交通空白地域も多いことから、移動手段の確保が行政課題化しており、早急に解決すべき問題と想つ。

①世帯別の交通弱者や年齢別自動車免許所有者数は把握しているのか。

②県内でも、デマンド型乗り合いタクシーを導入し、交通空白地帯の解消を図っている市町村が多いが、本市の今後の対応と計画について伺いたい。

市長 ①4月現在で、65才以上の高齢者世帯が1700世帯、心身障害者福祉タクシー利用券交付者は現在543名となっており、運転免許は、6月現在で、65才以上で約半数の5529名、70歳以上で3550名、75歳以上では1934名の方が保有しております。  
②今年度中に地域生活における交通の確保についてアンケート調査を行い、今後に向けて調査研究を行ってまいりたいと考えており

ます。

住宅用防災警報器の設置義務化の対応について

平成23年5月までに、住宅用防災警報器の設置が義務化されているが、県の設置率が全国平均の45・9%より低い13・9%と報道されている。そこで伺いたい。

①本市の設置率と今後の対応について

②75歳以上の二人暮らし世帯、低所得世帯、障害者世帯等への無償支援の計画について

市長 ①全戸を対象とした調査は実施しておりませんが、これまでの10回のアンケート調査で、本市の設置率は31・25%となっております。今後の対策としては、広報を含め、あらゆる機会を捉えて周知に努めてまいります。  
②無償支援は、これまでどおり、「逃げ遅れ」の危険性が最も高い75歳以上の単身世帯と単身の重度身体障害者世帯を対象に警報器の設置を支援してまいります。



深刻化している雇用対策について

松田 孝 議員

10月末の完全失業率は、5・1%と高水準で、有効求人倍率も悪化している。国は、企業が雇用を維持するために、雇用調整助成金制度等を設け支援しているが、企業の活用状況と効果はどうなっているのか。

また、市の当面の雇用対策と、来年度に向けた具体的な雇用対策について伺いたい。

市長 市内で中小企業緊急雇用安定助成金制度を活用しているのは27社で、雇用の継続や技術の継承に役立っております。

雇用対策として金融相談を年末の29〜30日に行うほか、ふるさと雇用再生特別基金事業及び緊急雇用創出事業の前倒しも検討し、さらに国の第2次補正予算の活用等により、国・県との連携を十分図りながら景気雇用対策に取り組んでまいります。

最上川緑地公園の多目的水面  
広場の見直しを

この施設は、周辺自治体に類似

施設があり、完成後の使用目的も曖昧である。また、完成後は高額な維持管理費や、洪水などに耐えられるのか疑問も多い。財政が厳しさを増している時に、不要不急の事業を見直し、市民生活上必要なところへ予算を回すべきでないか。時間の経過とともに意義の薄れてきた多目的水面広場の整備を中止し、新たな活用について市民とともに検討してはどうか。

市長 本事業は交流人口の拡大や経済の活性化を促すために、平成24年度の完成に向け、着実に進展している状況にあります。

多目的水面広場は、構造的にはほぼ完成をみており、これまでの事業の進捗状況や今後の展開等を勘案すると、完成に向けて着実に進めていくことが合理的な判断であると思っております。今後、スポーツ団体や多くの市民の声を聞きしながら、有効に活用いただけるよう、整備を進めてまいりたいと考えております。



市民に見える形での市政運営  
について

川越孝男 議員

①実施計画の改善について

市の財政事情から見て、厳しい事業選択や見直しは避けられず、市民の不満も増大する心配がある。

市民の信頼を得るために最も必要なのは、透明性の確保、実態の公表だと思う。将来の財政支出想定額を示すことや新規事業に限らず現行の事業や施設について見直すこと。健全財政の方針を行政だけでなく、市民が参加するワーキング方式を導入してつくること。

②市議会のインターネット配信の導入についての見解を伺いたい。

**市長** ①市政や財政の状況は、市報や地域座談会で公表しておりますが、今後とも内容をさらに工夫し、わかり易い説明に努めてまいります。事業評価については、機能を強化し、市民参加について検討してまいります。

②議会の中継は、情報提供として有効で、議会がより身近になるものと思いますが、議会において十分協議いただきたいと思います。

教育政策について

民主主義の民主市政をつくるうえで民主主義のルールや市民の自治意識の成長が必須の課題です。

①地方自治の本旨について認識は、

②議事機関である市議会の役割についてどう認識し、義務教育や生涯教育の中で指導しているのか。

③民主主義についてどう認識し、指導しているのか。

**教育委員長** ①団体自治と住民自治の2要素からなるものと認識しております。

②住民意志の代表の場と捉え、よく話し合うことの重要性和意思決定における多数決の原理、合わせて少数意見の尊重について指導しております。生涯学習では、講座等を通して市議会への理解を深めております。

③国民が主権を持ち、国民の意思をもとに政治を行う考え方であり、小中学校の社会科やその他の学習活動の中で指導しております。



協働のまちづくりについて

石山 忠 議員

不安定な社会、経済情勢の中、

地方分権、地域主権のキーワードは、「協働」であることから、「協働のまちづくり」について、基本的な考えを伺いたい。

また、自治を担う人材は、生活をしている人、働いている人、学んでいる人など、その地域に関わりを持つすべての人々であるが、特に、行政の窓口である行政職員、「自治の担い手」としての意識改革についての考え方について、伺いたい。

**市長** これからのまちづくりは、市民参加から市民主体への進化が必要であり、市民と行政が互いを尊重し信頼関係のもと、役割を分担することが重要であります。

地域の課題解決には市民自らが行動し、行政が情報提供や財政支援等を担い、一体となって取り組むべきであり、職員には市民の主体的行動を常に意識し、専門性を磨き、分析力・行動力・発想力をさらに高めてもらいたいと思っております。

ります。

過小規模校の適正規模化について

少子化に伴う教育環境の変化により、田代小学校の統合計画が示され、これまで協議を続けてこられたが、これまでの地域住民との話し合いの経過と内容、今後の進め方について伺いたい。

また、田代小学校と同様の条件にある幸生小学校について、どのような考えか伺いたい。

教育委員長

平成19年11月に

「20年4月を目標に白岩小と統合」を地区民に提案、その後、時期を「22年4月」に延期して話し合いを重ねましたが、合意に至りませんでした。本年2月、地区内の田代小学校統合問題協議会の設置により話し合いが進み、今回「統合やむなし。時期は今後の話し合いで決定。」との確認を得たところであります。幸生小についても、地区の方々と話し合いを進めてまいります。

# 常任委員会の行政視察報告

議会では、昨年10月、常任委員会ごとにテーマを定め、先進都市の行政視察を行いました。その概要について報告します。

## 総務常任委員会

愛知県豊田市

### 共働によるまちづくりの推進について

豊田市では、市民と行政が連携できる仕組みづくりとして、平成17年9月に「まちづくり基本条例」を制定。それを受け、共働によるまちづくりを推進するため「地域自治区条例」を制定し、市内全域に26の地域会議を設立して都市内分権を進めています。

地域会議は、地域住民が参加して地域の課題やまちづくりについて自主的に話し合い、主体的に取り組むテーマとその対応を市に提言することによって、共働によるまちづくりの推進役となっているものです。

具体的には、「わくわく事業」（市が1地域500万円の補助金を交付）について、公開審査を行い補助金額を決定しています。

現状の評価は、地域差はあるものの、26地域会議が主体性を持って取り組んでおり、わくわく事業を活用した市民活動の充実など目に見える形で表れてきており、自らの地域に関心が向き、地域のあり方を模索する動きにつながっていると

のことでした。

滋賀県近江八幡市

### イケチヨウ貝を使った水質浄化の取り組み

近江八幡市は、近江商人のまちとして、歴史ある町並みが残るまちです。琵琶湖の水を市内に引き入れた八幡堀は、市のシンボルであり多くの観光客が訪れています。しかし、堀の水は生活雑排水の流入などにより水質が悪化しています。

このため、平成20年から水質浄化能力が高いとされるイケチヨウ貝を試行的に堀に放ち、水質の変化を定期的に調査する「八幡堀水質浄化試行事業」を実施。八幡堀を守る会、水質浄化

ネットワーク等の市民団体の協力を得ながら、八幡堀に柵を設置し、イケチヨウ貝をネットに入れて吊り下げています。柵は3年間で毎年100m設置し、イケチヨウ貝を1200個ずつ増やしていくもので、水質調査は年間4回実施することになっています。

調査結果は、まだ2年目で、また、水量に対して貝の絶対数が少ないこともあり、明確な効果は出ていないが、実験では透明度は確実に上がることから、引き続き検証していきたいとのことでした。



イケチヨウ貝を吊した柵

## 厚生経済常任委員会

埼玉県熊谷市

### 地域福祉計画について



飯能市地域福祉計画は、

市民、市、社会福祉協議会が、協働の考え方から策定したもので、「地域福祉市民フォーラム」、「ふくし懇談会」、「市民懇談会」など、多くの市民が参加しました。さらに、市の各種計画との整合性、縦割りの調整、市民プロジェクトの設置など多くの課題を乗り越え、今後は、推進体制の確立を図る取り組みを進めていくとの

ことでした。

神奈川県秦野市  
「農」の担い手育成事業  
はだの市民農業塾について

新たな農業支援のために「はだの都市農業支援センター」をJAに設置し、農業支援窓口を一本化、効率化に努め、農業者と市民が一体となった「地域と調和した魅力ある都市農業の実現」を目指していました。



はだのじばさんず（産直施設）

なかでも、JAの経済事業改革の一環として、地産地消への取り組みから始まった「はだのじばさんず」は450平方メートルの売り場面積を持ち、550名の出荷登録者により約10億円の販

売高をあげていました。

埼玉県和光市  
地域福祉計画について

計画期間を平成22年度から平成26年度とする「第二次和光市地域福祉計画」は、公募市民、関係団体、保健・医療関係者、市職員及び学識経験者による「策定委員会」を設置し、アンケート、庁内ヒアリング、ワークショップ等を実施。パブリックコメントにより市民の意見収集を行って

います。キーワードとして、個人の尊厳、対平等、個性ある地域とし、地域住民・職員の意識改革も求めて取り組んでいきました。

計画の推進には、「各種関連団体、特に社会福祉協議会の地域福祉活動計画との連携は、市民の地域福祉計画の基本として重要である。」との考え方は、決してはずしてはならない事項と感じました。

建設文教常任委員会

埼玉県北本市  
指定管理者制度について

北本市では、指定管理者は、公園の管理はもちろんのこと、受付から利用拡大のための様々なイベントを企画・運営を行ったり、また一部の街区公園は地域自治会と委託契約を結ぶなど、協働の維持管理の促進を図っています。公園管理は、他の施設の管理業務と異なり、管理期間が5年と長期となっているため、長期に渡る事業の立案・実施が可能となることや、機器のリース期間を長くすることが可能であり、経費削減になるなどのメリットがあるとのことでした。

また、指定管理者の評価については特に気を使っており、自己評価・担当課評価・庁内評価・外部委員を入れた評価委員会評価と4

段階評価を行なっています。

千葉県船橋市  
中学校給食について



船橋市立宮本中学校にて

船橋市は、全ての中学校で完全給食を実施しています。その形態は船橋方式と言われ、主な特徴は、米飯とパン・麺類の選択方式、代金前払い制です。

調理方式は自校調理方式で、全校が民間委託しており、委託業者は、学校の予定に合わせて調理をしてくれるなど、臨機応変な対応が可能となっています。

各学校に調理室・ランチルームがあり、調理室は全て新設、ランチルームは空

き教室を活用しながら増築したり、新設していました。調理は全て手作り、冷凍食品は一切使用せず、食材は地産地消を心がけているとのことでした。

静岡県浜松市  
緑の基本計画について

浜松市では、市民生活の舞台となる緑の保全・整備と、それらを活用した多様な活動を想定しながら、緑による豊かな市民のライフスタイルの構築や新たなビジネスの創出に寄与することを目指し、市民一人一人が緑を生活に取り込み、活用しながら豊かな市民生活を実現する計画づくりを進めています。

計画案については、市民に意向調査を行い、市民団体から意見聴取しながら、学識経験者や市民代表、関係行政機関で構成する策定委員会や庁内幹事会において議論や検討を重ねて進めていきました。

# 市民の声



元町 最上 公さん

近年、市の事業施行がわりとスムーズに進んでいることを歓迎したい。街路樹の剪定、側溝の蓋掛け、公園の遊具修理・塗装等。

今、地域の大きな要望の一つに、横断歩道の設置があります。特に、元町交番

交差点から陵南中交差点までの約650m区間に南北の横断歩道が1本もないのが現状です。児童生徒の登下校時や、住民の日常生活での横断は危険極まりなく、住宅と交通量が年々増加し、横断歩道の設置は、緊急を要する課題です。

元町交番が近々元町から移転することを、地域住民は一抹の寂しさと不安を覚えています。時代の趨勢でやむを得ぬとは申せ、地域の安全、安心が今後とも保持できるように、行政の周到な施策を望みます。

## おらがまち 紹介

白岩地区町会長連合会長 兼子 昭一さん

白岩地区は、寒河江川、熊野川、実沢川、霊峰葉山の麓、旧国道112号沿いに三山行者の宿場町として栄えた歴史と文化の町である。幟旗、白岩城址、幸生銅山、葉山大円院跡など歴史的に貴重な史跡や資料があり、これほど歴史が凝縮された地域は県内でも珍しいかもしれない。

10月に開催された白岩城シンポジウムに参加したが、土塁、掘、虎口など当時を鮮明に偲ばせるものがあり、これを活用すれば、まちおこしの可能性が広がるのではと思った。

かつて日本経済を担った幸生銅山。歴史的遺産を残して活性化を図るため、幸生地区では、国道458号沿いの無縁墓地付近に銅山の略図と歴史を書いた看板を設置した。また、田代地区では、都会の学生との葉山村塾を開校し、農業の将来の研究、都市と地方との相互交流、山村地域の活性化を図っている。



白岩の幟立て(明治33年)

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、政権交代があり、事業仕分けの様子が報道されるなど、私たちにとって驚きの日が数多くありました。これらの事柄が私たちの生活にどのような影響を及ぼすのか、市民誰もがその動向に注目されていることと思います。

さて、12月定例市議会では、2億円余の追加補正が可決され、150億円弱の総予算となりました。その質疑の中や、10名の議員の一般質問において、市民生活に関わる市政についての議論が交わされました。これら議場の様子をこの「議会だより」で感じていただければ幸いです。

市民の皆様のご意見ご感想をお寄せいただきますようお願いいたします。

(工藤 記)

## 編集後記

# 議会日誌

(平成21年10月21日～平成22年1月21日)

### 10月

- 21日 岐阜県美濃市議会行政視察来寒
- 28日 東北市議会議長会事務局長会議

### 11月

- 5日 山形県市議会議長会事務局長会議
- 10日 全国高速自動車道市議会協議会理事会
- 11日 会派代表者会議
- 12日 山形県市議会議長会議会報研修会
- 西村山地方市町議会事務局職員研修会
- 13日 茨城県つくば市議会行政視察来寒
- 20日 議会運営委員会、全員協議会、会派代表者会議
- 24日 全国市議会議長会産業経済委員会
- 山形県市議会議長会定期総会
- 26日 第6回臨時会、会派代表者会議

### 12月

- 1日 議会運営委員会、常任委員長会議
- 4日 第4回定例会(～17日)、会派代表者会議
- 8日 会派代表者会議
- 9日 議会運営委員会
- 10日 会派代表者会議
- 16日 議会運営委員会、会派代表者会議
- 17日 議会だより編集委員会

### 1月

- 14日 議会だより編集委員会
- 15日 議会活性化検討委員会、会派代表者会議
- 18日～19日 議会運営委員会行政視察
- 21日 全員協議会